

女子格闘技の女王・藤井恵が衝撃発言！

[ファイト&ライフ] 格闘技ライフ提案マガジン

2013年8月号

www.fnlweb.com

定価880円

Fight&Life



[巻頭インタビュー]

藤井恵 私、引退します

2013
vol. 37



[巻頭インタビュー]

青木真也

シンガポール〜
アメリカ・ジム巡りを経て



MMAライト級 ニッポン新時代へ！

Fight&Life主催ライト級合同練習会

[座談会] 北岡悟×安藤晃司×久米鷹介

弘中邦佳×松本光史×西岡攻児×菅原和政

マスタージャパン 目指せ！ライト級名門ジムへの道！

ISAO

プロ格闘技 キング・オブ・バンクラシストの流儀

徳留一樹×高橋“Bancho”良明

14年来の親友が誓う夢 一緒にUFCのオクタゴンに立とう！

全米空手チャンピオンにしてビジネスも成功させアメリカンドリームを叶えている男がいる。彼の名は重田光康（しげた・みつやす）。1965年生まれの47歳。1999年、25歳の時、円心会館主催『サバキチャレンジ』の全米選手権ミドル級に芦原会館ロサンゼルス支部所属で出場し、初出場、初優勝を為し遂げた人物である。

その後、外食産業に挑戦し、全米で初の日本食専門店をオリジナルスタイルで展開し続けて、約20年間で、焼き鳥、もつ鍋、ラーメン店などを中心に、ロサンゼルスに13店舗、日本に3店舗を構えるに至った。

ロサンゼルスのホテルで朝、重田氏に取材時間の確認の電話をしたところ「ランチしませんか。今日はリトルトーキョー店の抜き打ちチェックの日なんです」と重田氏。早速30分後に会うことになった。

ホテルから重田氏の車でダウンタウンの「新撰組博多ラーメンリトルトーキョー店」へ向かう。開店30分前、彼は大きく十字を切り「押忍！」と低く声を出し店に入る。従業員は一斉に「おはようございませう」と挨拶。

なぜ押忍と店に入ったのかと聞くと「押忍！ よろしくお願ひします」という気持ちです。人との出会いや物事に対して学ぶ気持ち。私にとってはこれも道場ですから。ここはスタッフ全員の間人育成道場なんです。神聖な場所なんですよ」

すぐに店内の調理場や客席、照明のホコリなどを入念にチェック。その後、開店と同時に白人の客がどんどん入ってくる。12時を回ると50席はある店内は満員となり、入りきらないお客さんが外に列をなしていた。

私の格闘技ライフ 第7回



ロサンゼルスに日本食レストラン「新撰組」13店舗
アメリカンドリームを突き進む全米空手チャンピオン

新撰組グループ代表

重田光康

Mitsuyasu Shigeta

空手と闘牛が導きだしたビジネス成功の理由

空手・武道精神をビジネスマインドに取り入れ、アメリカで店舗展開し成功している日本人がいる。

25歳で空手全米チャンピオン、翌年から日本食レストラン『新撰組』をオープン、
これまでロサンゼルスで13店舗、日本で3店舗を出店。武道精神がいかにビジネスを成功させてきたかを聞いた。

取材・文・撮影_吉倉拓児（イーファイト）
text&photo=Takuiji Yoshikura

撮影・65 P_Hiroyuki Matsuyama

重田氏を取材すると、その成功の裏には空手と闘牛の存在が徐々に見えてきた。

あのケンカ空手に入門

重田が空手を始めたのは23歳のとき。福岡県の大学卒業後、世界No.1の経済大国アメリカでのビジネス成功を夢に渡米した。1988年のことだ。幼い頃から父親に「お前は1番だ」という教育をされてきたこともあり、高校時代、学校の成績はトップクラスで常に上位に入っているが、鹿児島県内トップの総番長を目指して喧嘩に明け暮れた。そして高校3年生には総番長になったこともあり、「俺には何だってできる」と過信していたという。

高校卒業後、ロサンゼルス英語学校に入学し、空手道場は重田らしく、ケンカ空手の異名を取る芦原英幸率いる芦原会館。ロサンゼルス支部（当時の指導員は現在・新体育道創設者である廣原誠氏）に入門。押忍の精神と空手の厳しさの中で揉まれ、1年で初段を取得。

そこで重田は考えた。ビジネス成功のために2年で不動産のリアルエステイト（日本で言う宅建免許）と、インパクトのある肩書きを得るために初出場で空手の全米チャンピオンになろう、と。

「それを決めてからはバイトと猛勉強と空手の稽古の日々でした。朝早くから1日5時間くらい弁当屋の配達バイトをしていたんですが、たまに余った弁当がもらえるんです。お金のない身にはラッキーでしたね。バイトが終わるとアパートに戻って資格の勉強。当初は、たった10行の参考書の問題を訳すだけで3時間もかかりました。そして18時から22時

までは優勝目指して空手の稽古、帰ってまた勉強」と睡眠時間を削る毎日を通した。

全米空手選手権

「サバキチャレンジ」

そして遂に91年4月、極真第10回全日本王者の二宮城光率いる円心会館が主催する、全米空手選手権「サバキチャレンジ」に出場。しかし試合前日、ロスからデンバーに降り立った重田を思いもよらぬアクシデントが襲った。

「ロッキーマウンテンの麓（標高1700m）だけあって空気が薄いですよ。深呼吸したいんですが、浅くしかできなくて夜は眠れなかったんです」

アクシデントは更に続く。一回戦の相手の拳が重田の上顎に流れ、前歯数本が折れてしまったのだ。しかし棄権はせず、出血をおさえながら諦めずに死力を尽くして戦い、準決勝、決勝へと勝ち進む。そして念願の優勝の栄冠をものにす。

「とにかく無我夢中で攻めて行きました」と重田。だが当時の格闘技専門誌に、「決勝戦、重田は常に積極的な攻防を仕掛ける。相手の左上段蹴りを受け流すと軸足を払って倒し、3ポイントを奪う」とあるように、悪条件の中でも冷静にサバキの技術で優勝したのがわかる。決勝が終わってみれば足の指も骨折しているなど、ボロボロの状態だったが、見事目標を達成。

また同じ年に目標にしていたアメリカの不動産ライセンス「リアルエステート」の試験にも合格した。

「この2年間は、人生で一番努力しましたね。空手と不動産ライセンスの2つの目標達成が今の私の自信に繋がっています」

Mitsuyasu Shigeta

しげた・みつやす

1965年9月8日、鹿児島県徳之島出身。少年時代は父親に託された牛を横綱に育てあげ、愛情を注げばいくら強健な牛でも気持ち伝わりと学ぶ。高校時代は成績優秀ながら喧嘩の明け暮れ、鹿児島県の総番長に上りつめる。大学卒業後、渡米し芦原会館入門。91年円心会館主催の全米空手選手権大会「サバキチャレンジ」ミドル級で優勝。翌92年、焼き鳥「新撰組」をオープン。武道精神で仕事に取り組み業績を上げ2013年6月現在、アメリカに日本食レストランを13店舗、日本に3店舗出店。8月にはロサンゼルスにカフェをオープン予定である。幕末の新撰組の近藤勇が局長と呼ばれていたことから彼も重田局長と呼ばれている。

新撰組設立

しかしこの不動産業、やっているうちに何か違うかと思いついた。本心ではあまり薦めたくない物件を、目先のお金のために「オススメです」とは言えなかったという。大学時代にやっていた焼き鳥屋のアルバイトのようにカウンターでお客様と真心で接したい気持ち湧き上がってきた。大学時代、美味しさに感動し、福岡の焼き鳥屋「屯所」で2年間アルバイトをしたことがある。この店長に連絡し「焼き鳥の焼き方を教

えて下さい」と頼んだ。店長の了承を得て、重田は福岡に一時帰国。焼き方を数カ月間学び、ロサンゼルスに戻った。物件を見つけた事業資金のため徳之島の実家を担保にアメリカの銀行からお金を借り、1992年9月25日、新撰組第1号店をロサンゼルス・ガーデナーにオープンした。空手の仲間にもお店を手伝ってもらい、オープン当初は多く客が入り「楽勝だ！」などと思っていたのもつかの間、徐々に客足が減り始める。オープンした月の3分の1まで売り上げが減り、事業資金も底が見え始

め、家賃滞納にまで至った。空手では悪いところを先輩や仲間が教えてくれて、効率的に上手になれる。しかし新人の焼き鳥屋の経営者では、なかなかそうはいかない。重田は「押忍」の精神で通つてくれる客の意見を常に聞いた。悪いところは是正し、信じて店を開き続けた。毎日朝礼、終礼し、言葉の通じない客にも心で接した。「言葉がわからなくても、心で接すること通じ合うことができる。事に真剣に臨むと、帳尻があつてきます」

すると1年後には、オープン1カ月目と並ぶ売り上げを記録。お客様に快適に、楽しく、美味しく過ごして頂くために自分ならどうするだろうと常に考え、店も当時は少なかった年中無休とした。「開業3年目の時期に、成長したスタッフの後ろ姿を見て心がスーッと晴れたんです。店はお金だけを追う場ではなく人間育成の場だと気づきました」その時に、世界一の気合いとまごころのこもった店作り、職場を通じ社会貢献できる豊かな人間育成道場。という新撰組グループ理



念が自然と生まれた。

これを機に新撰組は、「経営」と「店」「人間育成道場」の二本柱で2号店、3号店と店舗展開を続けていくことになる。

闘牛との日々

重田の周りには人が集まる。仕事終わりの食事会では、重田の友人でロサンゼルス在住20年の出版コードイナーターの松山氏が「本当にいい友人です。高校生時代の話を聞くと、当時なら絶対友達にならなかったと思います」と笑う。

従業員は重田を社長として尊重しているが、社長との間に壁は見えない。日本ではやんちゃで暴れ回っていた人間も、新撰組に入ると面倒臭いリーダー格に育っていく。

重田の話聞いてみると、その人間力は空手で養われたものもあるが、もうひとつ、少年時代から育まれたものがあつた。重田の出身地は鹿児島県の徳之島。ここは古くから闘牛で有名な地で、闘牛を横綱にするのが島の人々のステータスでもある。土建業を営み、徳之島の闘牛会長だった父は重田が小学1年生の頃、血統書付きの闘牛の仔牛の世話を命じ、重田は365日毎年休まず世話をすることとなる。普通の子供のように友達と遊んだ記憶はあまり無いという。重田は与えられた闘牛を、びよーぐわーと名づけ可愛がった。びよーとは徳之島の方言で仔牛という意味。

闘牛はまもなく重田になつたが、闘牛の世話をしている、飼いが角で突かれて死亡する例も少なくない。重田にももちろん事故のリスクはあった。

特訓として角を鋭利に研ぎ、ジヨ



開店前の店内チェック。棚からお客様が座る椅子やテーブル、照明の隅々までホコリがついていないか隅々まで目を配る。「お客様には心地良く楽しく過ごしてほしい」と重田。



重田は店に入るとき、会社に入るとき「押忍!」と腕で十字を切り顔を下げたて入る。「空手も会社も同じ道場」と重田。



徳之島といえば闘牛が盛ん。1トクラスの牛が角を突合せ戦う。重田の闘牛「びよーぐわ」は横綱となった。



新撰組リトルトーキョー店の看板メニューの豚骨ラーメン。濃厚スープは豚を長時間煮込み鶏も自家製オリジナルで「このスープに合う麺を追求した」と重田。



1991年月刊空手道8月号より。写真右が重田。記事中には「1回戦、本戦両者一歩も引かず、延長にリバードの右ストレートが重田の顔面にヒットし歯が吹き飛んだ」とある。

私の格闘技ライフ 第7回

空手道場にて

重田はどんな猛猛な牛でも、愛情を注げば気持ちが伝わることを学んだという。

昨年からは修道空手という道場の代表をしている。修道とは、武道の道も人生の道も共通するように修行しながら、道をただし、常に進化を重ね正しい方向に修めるという意味で名付けた。

重田は、元々は芦原会館の指導員だったが、新撰組設立後は仕事が忙しく道場にあまり顔をみせなくなっていた。そこに昨年、現地ロサンゼルス芦原会館が閉館する事になり、昔の空手を愛する後輩たちが、重田を道場代表として設立したいと打診してきた。重田に声をかけた現・修道空手指導員の村井新一氏は「重田さんは実績があるし、強いし、とにかく拝み倒しました」という。

後輩の懇願を申し出る姿勢に胸を打たれ、重田は忙しい仕事のスケジュールを縫って週に1回のみ指導。取材日はコンビネーションとサバキを中心に、一人一人の間を回りながら丁寧に指導していた。重田が技の例を見せると、無駄な力がなく、サバキと突き蹴りの鋭さが抜群で十分強さが伝わってきた。彼は空手で生き生きと動く。彼の武道家としてのぶれない軸は、週に一度のこの稽古と日々の自主トレが、より良い栄養

捕給源になつてゐるからであらう。

空手が経営に 生かされたこと

13店舗も展開しロサンゼルスで家を買つ、いわゆるアメリカンドリームを叶えた彼に、空手がどうビジネスに活かされたのかを聞いた。

「アメリカンドリームなんてまだまだですよ。これからまだ店舗を展開していきます。ただ、活かされたことと言えば目標を諦めないことです。分かりますか？鉄を例にすると、何度か折れちゃうと、折れないんじゃないか、って思つていたらある瞬間に折れることがある。それを限界点だとする、実際自分の努力ではあと一回で折れる限界点が見えないことが多い。まだまだだと思つてみてもう限界と諦める人でも、あと一回、と励ますとできますよね。あと一回のチャレンジで勝てるかもしれないんですよ。限界点を超えるのも武道の重要な一つ。それは仕事でもイコールです。僕から言えば特別な人なんて誰もいないと思うんです。大義や使命感を持ち自分を奮い立たせ、限界点を超えるようにする。見えない限界点を諦めずに越えることです。すると何かその先に引つ張られるんです。私は同じ仕事を毎日していく中で急に売り上げが上がったり、そんな不思議な体験を何度もしているんです。売り上げを上げる方程式は存在しないと思います。当たり前のことを当たり前にコツコツとやり続けることです。もうダメかな、いやもう一歩だと言つて限界点を超え、そうやって創業15年目にできたのがこの言葉です」

「王道に近道なし 我この道を行く」



新撰組 焼き鳥 本店 ※第1号店
住所 18517 S. Western Ave., Gardena, CA 90248 Tel:310-715-1588



新撰組 焼き鳥・しゃぶしゃぶ モントレーパーク店
住所 111 N. Atlantic Blvd. #248, Monterey Park, CA 91754 Tel:626-943-7956



新撰組 博多ラーメン リトルトーキョー店
132 S. Central Ave., Los Angeles, CA 90012
Tel:213-687-7108

アメリカ

ロサンゼルス

※全13店舗



誠(まごころ) 本店
東京都千代田区神田駿河台3-7 百瀬ビル新館1階
Tel:03-5283-1550



誠(まごころ) スンドゥップ 早稲田店
東京都新宿区西早稲田3-28-1
Tel:03-3204-4234



誠(まごころ) スンドゥップ 高田馬場栄通店
東京都新宿区高田馬場3-4-14 協和荘1F中側
Tel:03-5937-4458

日本

※全3店舗

新撰組 店舗紹介



修道空手のメンバーと。



子供にやさしく丁寧に指導。



重田が道場でサバキを教える。サバキ、特に突きが鋭い。

修道空手

道場長 重田光康 三段 指導員 ブラッド・パークランド 二段、村井新一 二段
練習場所:Sparta Mixed Martial Arts 1617 W Rosecrans Blvd Unit E Gardena, CA 90249

連絡先

Email: shudokaratedojo@gmail.com

Web: https://www.facebook.com/shudokarate.dojo

空手や格闘技を志す方への メッセージ

されどこの道より近道なし」

「壁にぶち当たっても言い訳せず突き進むこと。壁にぶち当たるということは自分が足りないからであって、足りない部分を気付かせてくれることです。限界点を超えるために、あと一回、です。」

格闘技の選手を目指す人で、強くなりたくて格闘技の練習が第一でバイトや仕事を二の次と考えて手を抜きがちなのもありますが、仕事も真剣にこなし、時給千円だとすれば、その仕事量なら時給二千円でもまだまだ安いと思われるくらいに僕は頑張りました。将来の自分には関係ないからと手を抜いたり、今の自分には必要ないと思つて適当に給料を頂き時間を過ごしては人生はつまがっていかない。人生の中でのターニングポイント、点と点が線になるには、武道でも生活の為のアルバイトでも常に全力で一所懸命に立ち向かうことの積み重ねこそが大事だと思います。いい加減な仕事をして、後から気付いて、何年かして教えてくださいつて行つても、誰も教えないですから。

最後に、全てが道場です。強さだけ求めても、本当の幸せを感じる事はできません。空手道場も職場も。競技だけでなく、学ばなくてはならないのは精神だと思ふんです。間違いないです。そこがどの仕事にも共通しているんです。礼に始まり礼に終わる。相手を思いやる気持ち、全てにおいて最善を尽くす。そして自分との闘いだということ。人である以上はどこでも一緒です。押忍！」